研究 本邦における先天性好中球減少症の疫学調査およびゲノム解析を目的とした多施課題 設共同研究

名

研究 | 実施許可日 ~ 2032年 3月 31日

期間

象

研究 先天性好中球減少症に罹患されている方のうち、2025年3月までに検査・診療の対 を受け、本学および共同研究機関において情報や検体が保存されている対象の方。

研究 の目 的・ 方法

研究目的:本研究では先天性好中球減少症患者さんの QOL の向上を目的とし、調査票を用いて臨床情報の収集を行い、本邦における先天性好中球減少症の臨床像、治療法、予後などに関する新たなエビデンスの蓄積を目指します。また、末梢血と骨髄検体を用いて白血病や骨髄異形成症候群への進展に関与する遺伝子について研究する(末梢血・骨髄体細胞変異解析と呼びます、注 1)ことで、病態の解明と治療法の確立と開発を目指します。また責任遺伝子が同定されていない患者さんにおいては、全ゲノム解析(注 2)による責任遺伝子の同定を目指します。

## 注1:末梢血・骨髄体細胞変異解析とは

末梢血や骨髄の細胞で起こる遺伝子変異のことをいいます。一部の遺伝子に異常が起こることにより、白血病/骨髄異形成症候群へ進展することが知られています。

## 注2:全ゲノム解析について

通常の遺伝子解析で異常が判明しない場合、全ゲノム解析を行うことで遺伝子異常が判明することがあります。本研究では、次世代シーケンサーを用いて全ゲノムの解析を行います。全ゲノム解析とは、提供していただいた試料を用いてゲノム全体の塩基配列を調べることです。超高速に塩基配列情報を得ることができる次世代シーケンサーと呼ばれる装置を用いることで、一度にほぼすべてのゲノムの塩基配列を調べることが可能になりました。これにより、ゲノム全体から病気の原因となる遺伝子を探っていきます。

研究の方法:各共同研究機関で先天性好中球減少症を持つ患者さんの主治医に対し、臨床情報収集のための調査票(excel/word ファイル又は紙)を送ります。臨床情報の収集は各患者の主治医がカルテからデータを収集します。このデータを研究担当者が収集・解析します。過去の血液検査や骨髄検査のときに余剰分が保存されている場合はその検体を用いて末梢血・骨髄体細胞変異解析や全ゲノム解析をさせて頂きます。あなたから頂いた試料や情報は、各施設から広島大学に送付します。末梢血・骨髄試料は広島大学で DNA 抽出を行った後、国立がん研究センターもしくは京都大学に送付され、骨髄体細胞(骨髄の細胞に起こる遺伝子変異)変異解析を行います。また病気の原因となる責任遺伝子が判明していない場合は広島大学で全ゲノム解析を行います。さらに先天性好中球減少症の国際

レジストリ(事務局:ボストン小児病院)ともデータを共有します。 研究 情報:血液検査、免疫学的検査、骨髄検査所見、同定されている責任遺伝子、既 に用し 往歴、現病歴、画像所見、悪性転化の有無、治療の詳細、骨髄移植の有無とその いる 詳細、合併症、予後 試 試料:保存されている末梢血・骨髄検体 料 • 試料・情報の管理責任者: 情報 宮崎大学大学院医系科学研究科小児科学 職名 助教 氏名 西村 豊樹 の種 類 利用 2025年10月14日 また は提 供を 開始 する 予定  $\Box$ 個 人 | 得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述 情報 を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させ の保 るための対応表は、各機関の研究責任者もしくは個人情報管理者が厳重に管理し 護 ます。 外部 臨床情報は調査票(Excel/word file)に記入され、Eメールによって広島大学の  $\wedge \sigma$ 研究者に提供されます。末梢血・骨髄試料は担当医より広島大学へ送付され、広 島大学で DNA 抽出を行ったのちに、国立がん研究センターもしくは京都大学に 試 \*\*\* 送付され、骨髄体細胞(骨髄の細胞に起こる遺伝子変異)変異解析を行います。 情報 また病気の原因となる責任遺伝子が判明していない場合は広島大学で全ゲノム解 析を行います。また臨床情報および遺伝子解析結果は、先天性好中球減少症の国 の 提| 供 際レジストリ(事務局:ボストン小児病院)と共有します。これらの臨床情報や 試料は、すべて誰にものかわからないよう個人情報を加工したあなたの試料や情 報を提供します。海外への情報提供において、適切かつ合理的な方法により得ら れた当該外国における個人情報の保護に関する制度に関する情報については、個 人情報保護委員会のHP (https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku) にて参照することが出来ます。 また、将来、本研究に関連した解析研究に使用させていただきたいと思います。 その際は個人を特定できない形で改めて、倫理審査委員会で承認後、研究機関の 長の許可を得てから使用します。将来の研究に使用した場合は、その研究に関す

る情報を現在ご覧いただいている HP(人を対象とする生命科学・医学系研究の

実施等に関する情報の公開(https://miyazaki,bvits.com/rinri/publish,aspx)にて開 示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。

研究 | 研究責任者: 西村 豊樹

組織

研究機関の長:盛武 浩

研究代表者:広島大学大学院医系科学研究科 小児科学 教授 岡田 賢

共同研究機関

別紙参照

研究 | 研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその

への | 代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先

利用 | までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。

を辞し ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供して

いただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合が 退す

る場 あります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれませ

合の  $h_{\circ}$ 

連絡 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご

希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障が

ない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申

し出ください。

先

先•

お問

合せし

宫崎大学小児科

担当者:西村 豊樹

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

電話番号:0985-85-0989